

名称	森木農園株式会社
代表者	代表取締役 森木和也
所在地	牧之原市東萩間
キャッチフレーズ	ファンづくりに向けて常識の枠にとらわれない 顧客を笑顔にする取組に挑戦

経営概要

(1) 設立の経緯

代表の和也氏が就農した平成26年当時は茶専業でしたが、茶価が低迷する中、家族を説得し、平成27年にイチゴ、平成29年にメロン栽培を開始し、お客様に『美味しさ』を直接届けることに主眼を置いた経営をスタートしました。



令和2年には、“シャインマスカット”を新規導入し、令和6年の収穫開始を目指しています。

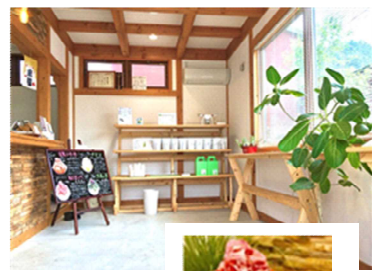
なお、平成30年に弟の亮氏が就農し、お二人を取締役とする株式会社を令和3年に設立して経営を継承しました。



(2) 顧客との関係性を重視したマーケティング

お客様に農業をもっと身近に感じてもらうため、農園と直接つながる場として、平成30年に自宅敷地内にカフェ併設の直売所（オープンテラス付き）を開設しました。新鮮な農産物に加え、イチゴをたっぷり使ったかき氷やパフェなどが大人気です。

さらに月1回程度、地域の農業者や飲食店などが参加するマルシェを開催するとともに、「かき氷縁日」などのイベントをSNSで情報発信し、「森木農園のファンづくり」に取り組んでいます。



(3) 今後の方向

ブドウの収穫が始まれば、春のお茶、夏のメロン、秋のブドウ、冬のイチゴと周年で収穫できる体系が整います。お客様の満足度をさらに高めるためには、農園を支える社員の仕事に対する満足度が重要だと考え、社員がわくわくし感動できる職場づくりにも取り組んでいます。



また、廃棄ロスの削減を目指し、秀品率の向上を図るとともに、B級品は加工に回すなど、付加価値を付けた販売で経営の発展につなげたいと考えています。

(令和4年度ふじのくに未来をひらく農林漁業奨励賞)